

1. 2011年度年会について

2011年度年会は早稲田大学において、下記の通り行われます。

場 所： 早稲田大学理工学術院

日 時： 2011年3月20日（日）より3月23日（水）まで
（市民講演会は3月19日（土））

開催情報のページ：<http://mathsoc.jp/meeting/waseda11mar/>

2010年度秋季総合分科会から、オンライン講演申込・アブストラクト投稿システムの運用を始めました。これは、プログラム編成に関する開催校の事務負担の軽減を主な目的としております。今回はまだ講演申込用紙による申込とオンラインシステムによる申込を並存させておりますが、信州大学で開催いたします2011年度秋季総合分科会からは原則としてオンラインシステムによる講演申込に限る形で一本化する予定です。今回の講演申込におきましても、より多くの方がオンラインシステムを利用することが、開催校を直接的に支援することにつながります。会員の皆様にはこのことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、統計数学分科会と応用数学分科会の一般講演申込とアブストラクト投稿につきましては、今回から原則としてオンラインシステムによるものとします。

以下では、オンライン講演申込と従来の講演申込用紙による申込の両方を並列して説明いたします。オンライン講演申込のみに関係することは、次項の「2. オンライン講演申込・アブストラクト投稿システムについて」で解説いたします。

a) 講演申込について

この会で講演することを希望される会員は、オンラインシステムを用いるか、会員名簿にとじこまれている講演申込書に記入してお申し込み下さい。統計数学分科会と応用数学分科会の場合は、原則としてオンラインシステムを用いることにしますが、何らかの事情でオンラインシステムが利用できない会員に対して講演の機会を保障する手段も考えております。

「5. 統計数学分科会・応用数学分科会における講演申込・予稿投稿について」をご覧ください。

講演申込の際は、会員番号を必ずご記入下さい。そして、講演申込用紙を用いる場合は、会員である共同発表者は会員番号、会員でない共同発表者は非会員の旨をご記入下さい。オンラインシステムを用いる場合は、会員である発表者の会員番号を必ずご記入下さい。（会員番号を用いて、発表者名の校正をある程度自動化いたしますので、このお願いをいたします。また、将来的に一般講演の講演者と講演題目をデータベース化するときに、会員番号をキーとして用いることとなります。）

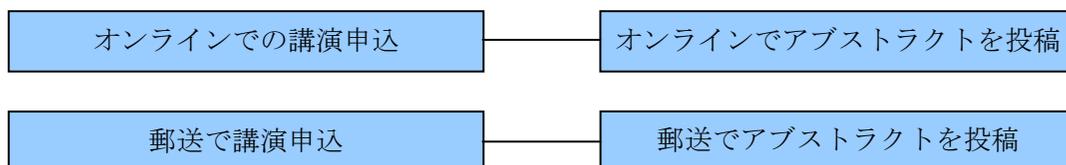
「無限可積分系」セッションについても、講演の発表、募集は分科会と同じように公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行われます。講演希望の方は、オンラインシステムまたは講演申込書の「希望分科」欄を「XI 無限可積分系」として下さい。

複数の講演（実際に登壇すること）を希望される場合、今回は重要な注意があります。オンライン申込をされる場合はすべての題目の講演申込をオンラインで行い、講演申込用紙を用いる場合はすべての題目の講演申込を講演申込書を用いて行って下さい。また、講演申込用紙を用いる場合、複数の分科会あるいはセッションにわたるときは、その分科会名あるいはセッション名を講演申込書に明記して下さい。

OHP または プロジェクタ の使用を希望される方は、オンラインシステム または 講演申込書で希望のものを申告して下さい（書画カメラについては、「3. プレゼンテーション設備について」を参照して下さい）。

なお、大会運営上時間及び講演件数を制限させて頂くこともあります。

予稿（アブストラクト）原稿も、下記の注意に従ってオンラインシステムを用いるか郵送によってご提出下さい。オンラインシステムで申し込んだ講演はオンラインシステムによって、講演申込書によって申し込んだ講演は郵送で、アブストラクトをお送りください。



オンラインシステム（APP サーバー）の URL: <https://app.mathsoc.jp/>

郵送の場合の講演申込先：〒169-8555

東京都新宿区大久保 3 - 4 - 1

早稲田大学理工学術院

日本数学会年会 大会委員長 足立 恒雄 宛

封筒の表面に“講演申込”と朱書のこと。

オンラインシステムによる申込締切：1 2 月 5 日（日） 2 3 時 5 9 分
（オンラインシステムの受付開始は 1 1 月 1 2 日（金） 0 時 0 分とします。）

郵送の場合の申込締切：1 1 月 2 6 日（金） 必着で申込先に到着するようお送り下さい。
（締切後の追加申込は受け付けられません。）

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を 1 人当たり 2 件以内とします。

申込用紙：講演申込書による場合、各題目ごとに、名簿とじこみの用紙、またはそれと同じ形式のものを用いて下さい。（年会の開催情報のページ <http://mathsoc.jp/meeting/waseda11mar/> には「一般講演申込書」の PDF が準備してあります。）

予稿原稿：分科会による指定のない限り、2009 年度版会員名簿内の“学会アブストラクトの書式”に従って作成して下さい。（年会の開催情報のページから“学会アブストラクトの書式”がリンクされています。そこにはアブストラクト作成のための LaTeX クラスファイルのページもリンクしてあります。）また予稿原稿の送付期限も、講演申込と同じく、

オンラインシステムの場合：1 2 月 5 日（日） 2 3 時 5 9 分
講演申込書による申込の場合：1 1 月 2 6 日（金） 必着

とさせて頂きます。（統計数学分科会と応用数学分科会での講演に関しては、別途説明があります。）

キーワード・分類コード：数学基礎論および歴史，函数論，実函数論，統計数学，応用数学各分科会への講演申込にあたっては、それぞれ次の分類コー

ドから選んでオンラインシステムのキーワード欄または講演申込書の備考欄にキーワード等を記入して下さい。以上の分科会の講演申込をオンラインで行う場合、キーワードの記入がないとエラーとなりますのでご注意ください。

数学基礎論および歴史分科会：1 [数学基礎論]，2 [歴史]

関数論分科会：1 [1変数関数論]，2 [多変数関数論]

実関数論分科会：1 [フーリエ解析]，2 [関数空間]，3 [発展方程式]，
4 [バナッハ空間の幾何，不動点定理]，5 [測度論，積分論]，
6 [その他]

統計数学分科会：1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，
3 [確率分布，標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，
5 [多変量解析]，6 [時系列解析]，
7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近理論]，9 [応用統計]，
10 [推測理論]（3-7に含まれないもの），11 [その他]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]，2 [離散系応用数学]，3 [その他]

上の分類コードは，講演申込数の動向などに応じて改訂を検討することになっておりますので，ご意見を連絡責任評議員までお寄せ下さい。

講演題目中の数式：すでに数学通信14巻4号の会報でお願いいたしましたが，講演題目に用いる数式は最小限に留めるようお願いいたします。

b) 学会講演申込書・学会プログラムの名誉教授の扱いについて

2007年度版会員名簿「学会講演申込書を書くときの注意」の中に「名誉教授は空欄にして下さい。」と記載してありましたが，2008年3月28日の理事会にて「学会講演申込書には名誉教授であることをご明記いただき，学会プログラムでは名誉教授を表すマークを付けて所属欄に記載する」と決定しました。名誉教授の先生方は，講演申込書に「名誉教授」を忘れず記載して下さい。オンライン申込では，名誉教授に関するボタンも用意されております。

c) 予稿集について

各分科会，セッションとも予稿原稿に従って講演予稿（アブストラクト）集を作ります。

(1) 基礎論及び歴史・代数・幾何・関数論・関数方程式論・実関数論・関数解析・トポロジー分科会・「無限可積分系」セッション

上述の「a) 講演申込について」の“予稿原稿”に従ってご提出下さい。なお，予稿原稿を直接大会委員長宛に郵送される方は，講演申込書と同時にご提出下さい。

(2) 統計数学分科会

「1. 2011年度年会について」にありますように，今回より講演申し込みと予稿投稿の方法はオンラインシステムに統一されます。統計数学分科会では予稿集の原稿の締め切りは講演申し込みの締め切りと同時ではなく，**2011年1月30日（日）23時59分**といたします。この締め切りまでにオンラインシステムにより原稿のPDFファイルをアップロードして下さい。なお，ご事情によりオンラインシステムによらず講演申し込みをされる方は「5. 統計数学分科会・応用数学分科会における講演申し込み・予稿投稿について」に従って予稿集の原稿を投稿して下さい。

(3) 応用数学分科会

応用数学分科会（別記のように申込件数は2件までに制限）では原則オンライン投稿とし、予稿集用の原稿投稿締切を講演申込締切と同時ではなく、**2011年1月30（日）23時59分**とします。何らかの事情でオンラインシステムを利用できない方は、「5. 統計数学分科会・応用数学分科会における講演申込・予稿投稿について」に従って行って下さい。予稿原稿は1講演あたりA4（縦置）横書き4ページ以内とします。マージンは上端20mm，下端30mm，左右端30mmとして下さい。講演予稿集は原稿をそのままB5に縮小して**白黒**で印刷しますからフォントサイズは9ポイント以上として下さい。ページ番号は入れないで下さい。ファイルはPDF形式に限定します。PDF形式に変換する際はすべてのフォントをインクルードして下さい。また、PDF形式に変換後のファイルをAcrobat Readerなどで印刷し、読めることを確認して下さい。予稿集の目次は、講演申込時の題目で組みますのでご注意ください。なお、特別講演やスペシャルセッションについては4ページの制限は適用されません。詳細については評議員に問い合わせてください。応用数学分科会では液晶プロジェクターの利用は原則的に可能としていますので、利用を希望する場合は講演申込書に「プロジェクター利用」と明記して下さい。もし、やむを得ない理由で利用が不可能になった時は応用数学分科会ニュース：

<http://www.math.u-toyama.ac.jp/~ikedaoosu/dam.html>

にその旨掲載しますので適宜確認して下さい。応用数学分科会ニュースは応用数学分科会公式ウェブページ

<http://isam.pm.tokushima-u.ac.jp/~imai/societywork/dam/damtop.htm>
からもリンクされています。

d) 講演申込の確認について

前回の秋季総合分科会のと様と同様に、プログラム編成会議終了後に、講演者名と講演題目をウェブ上で公開して確認できるようにします。12月20日（月）に情報を年会のページにおいて公開します。（公開開始のニュースを数学会の会員向けのニュース欄においてお知らせします。）確認した結果、何かお気づきの会員は、12月23日（木）までに [program\(at\)mathsoc.jp](mailto:program(at)mathsoc.jp) までご連絡下さい。そのときに、いつの時点で講演申込をしたか、なるべく詳細にご連絡ください。

軽微な字句修正につきましてはお断りする場合もあることを予めご承知ください。また、アブストラクトのPDFの差し替えはいかなる理由があってもお引き受けいたしません。

e) 会合の申込について

各分科会または研究団体で、会合のために部屋の準備を必要とされる場合は、①会合の名称、②責任者の氏名・連絡先、③使用の日時・人数、④弁当の有無等を明記した書面を下記に提出下さい。なお、期限後の申込については、会場確保が不可能となる場合もあります。

申込先：〒169-8555

東京都新宿区大久保3-4-1

早稲田大学理工学術院

日本数学会年会 実行委員長 江田 勝哉 宛

封筒の表の面に“会合申込”と朱書し、申込書には電子メール等の連絡先を明記して下さい。

申込締切：**12月5日（日）必着**。

f) 無限可積分系

このセッションについては、日本数学会理事会の責任において行うものですが、今回の実務的な責任者は白石潤一氏（東京大学大学院数理科学研究科）です。

g) 企画特別講演について

企画特別講演は、1996年度第3回評議員会において承認され、1997年度年会より始まった企画で、大学院生等若い会員にとって、年会・総合分科会への参加がより意義のあるものになることを目的としています。講演者は、分科会評議員および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに、理事会が決定致します。講演は、学会期日中の第1日、第3日、第4日の3日間の13:00～14:00に複数を平行して開催します。この時間は一般講演・特別講演等の通常プログラムは設けません。また、アブストラクトは総合講演アブストラクトと合わせて作成します。

h) 書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は、申込書2枚（日本数学会理事長宛、大会委員長宛）を申込締切 **12月5日（日）厳守** で下記（展示とりまとめ当番社）へお送り下さい。（締切後の追加申し込みはご容赦下さい。）

送り先：〒113-0034 文京区湯島4-1-22
 (株) マテマティカ
 電話:03-3816-3724 FAX:03-3816-3717

スケジュール 下の図において統計数学・応用数学を除くすべての分科会・セッションの申込スケジュールは、オンライン申込の場合、上段の流れ（分科会名が記載されていないもの）が該当します。

